

## 伊野南小学校

### 小中合同避難訓練

10月7日の昼休み時間に小中合同

避難訓練を行いました。昼休み時間に震度6の地震が起こり、家庭科室から出火しているという設定でした。



児童は、運動場や廊下、教室などでそれぞれ思い思いに遊んだり、給食の片づけをしたりしていました。が、地震速報が流れた瞬間、真剣に放送を聞いて行動することができました。地震の場合同、全校児童が集まる場所は正門です。



津波のことを考えて、さらに学校の裏山に避難するということも考えていなければなりません。今回は、中学校3年生が低学年と一緒に避難をしました。全校児童、中学校3年生、教職員が無事、学校の裏山に避難することができました。

いつ何時、地震が起こるか分かりません。いざという時にあわてないでいられるのは日ごろからの訓練が大切です。

これからも、一人ひとりが考えて行動できるように声かけをしていきたいと思えます。

### 親水公園をきれいに

4年生は総合的な学習の時間に

もっと奥田川や親水公園をきれいにするにはどうしたらいいかということに取り組みんでいます。



児童の意見をまとめ環境ボランティアの方との意見交換会を行いました。「ゴミ拾いをしたい」、「ベンチがあればいいな」という児童

の意見を提案しました。

10月22日には、環境ボランティアの皆さんと一緒に親水公園のごみ拾いを行いました。地域の方が親水公園にたくさん来てくれるように頑張っています。

## 神谷小中学校

### 伝統文化教育研究発表会

神谷小中学校は国立教育政策研究所の研究指定を受け、平成26・27年度の2か年にわたり、「我が国や郷土の伝統文化を尊重する児童の育成」をテーマに研究を進めています。郷土の伝統文化である「土佐和紙」を主な題材として、各教科などと伝統文化の関連を図った教育課程を編成するとともに、クラブ活動での体験を通して、伝統文化を尊重・継承していこうとする児童の育成に取り組みできました。これまでの研究成果を公開する場として、10月6日に伝統文化教育研究発表会を開催しました。

当日は、土佐和紙を主なテーマとした公開授業を行いました。小学3・4年生は、簀笥(すげ)作りに挑戦し、紙漉きの道具の素晴らしさに気付く授業を行いました。和紙職人の尾崎伸安さんからアドバイスをいただき



き、自分たちで作った簀笥をさらにより良くしようとしていました。授業後の全体会では、本校の取組を発表するとともに、文部科学省・津田正之教科調査官より「伝統文化教育を充実するために」の演題で指導講話をいただきました。伝統文化の継承に取り組む大人の姿を見せること、昔から大切にしてきた価値観や考え方に気付かせることなどの大切にすべき視点を示していただきました。

本校は、今年度から正式にコミュニティ・スクールとなり、地域とともにある学校づくりを進めています。その柱が、神谷地区の伝統文化である「土佐和紙」の学習です。この学習を通して、郷土を大切に思い、伝統を受け継いでいこうとする心を育んでいきたいと考えています。